

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、愛媛大学白菊会を通じてご提供いただきましたご献体から、組織を採集して使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、ご遺体を臨床研究への利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 HHV6,7 の末梢神経での潜伏感染に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

【研究責任者】 木村拓也（耳鼻咽喉科 医員）

【研究の目的】

ヒトヘルペスウイルス 6.7 の末梢神経での潜伏感染の有無を明らかにしたいと考えています。ヘルペスウイルスの感染の有無を確認することによって、ヘルペスウイルス 6.7 が顔面神経麻痺の病因のひとつであることの根拠の一つとなります。他の研究も併せて進めることで顔面神経麻痺の一因を解明し、新たな治療法につながる可能性があります。

【研究の方法】

愛媛大学白菊会を通じて 2010 年以降にご提供いただきましたご献体解剖実習時に、顔面神経との末梢神経を採集し、RealtimePCR という方法を用いてウイルス DNA を検出します。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科 木村拓也

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科 木村拓也

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5366